

花王、第4回「がんアライアワード2021」でゴールドを受賞

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」(発起人: 機能聡子、岩瀬大輔)が主催する、第4回「がんアライアワード2021」において、このたび、ゴールドを昨年に引き続き連続受賞しました。



■「がんアライアワード」とは

「がんアライアワード」とは、がんを治療しながら働く人を応援する団体を表彰するものです。参加企業は、がん罹患者の味方「アライ(Ally)」であることに加え、がんとともに働きやすい企業であることを宣言したうえで、具体的な取り組みについて審査を受けます。選考会では、「がんアライ部」の発起人をはじめ、運営事務局によって、「風土づくり」「相談できる環境づくり」「制度」の観点で審査が行なわれ、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞が付与されます。2021年はゴールド21社、シルバー19社、ブロンズ3社の計43社が受賞しました。

■花王の主な取り組み

【『健康経営』の取り組み】

- ・2008年にトップメッセージとして花王グループ健康宣言を行ない、「健康づくり」に関する5つの取り組み(1.生活習慣病、2.メンタルヘルス、3.禁煙、4.がん、5.女性の健康)を中心に健康づくり活動を推進しています。
- ・ヘルスリテラシーの高い社員を増やすため、健康づくり活動の見える化をすすめ、PDCAサイクルを回しながら社員の健康度を上げていく「健康経営」に取り組んでいます。

【社内の枠を超えた取り組み】

- ・CancerXへの協賛
“がんになっても動揺しない社会”の実現を目的に、医・産・官・民・メディアなどコレクティブインパクトで、がんに関する社会課題の解決をめざす一般社団法人「CancerX」の方針に賛同。「World Cancer Week2021」に協賛企業、ボランティアスタッフとして参加しました。
- ・アグタス(AYA* GENERATION + group)オンラインイベント「AYA祭り」への参加
AYA世代若年性がん経験者当事者団体アグタスのオンラインイベント「AYA祭り」にて、「がん治療と就労」支援でもあるがんサバイバー向けのメイク・スキンケア講座を開催しました。アグタスメンバーや参加者の方と対話形式で行ない、メイクやスキンケアについて、がん治療のリアルなお悩みが寄せられました。

*: AYAはAdolescents and young adults(思春期と若年成人)の略

今回の「がんアライアワード2021」ゴールド受賞は、がんに対する理解を促す風土づくりを進めるため、花王社員とその家族の健康度を上げていく「健康経営」の取り組みと制度の中心にがんを取り入れていることや、これらの社内の枠を越えた取り組みが評価されたものです。



花王株式会社の「がんアライ宣言」
(がんアライ部公式サイト掲載)

花王グループは、2019年4月にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」(キレイライフスタイルプラン)を策定し、「社員の健康増進と安全」や「受容性と多様性のある職場」を重点取り組みテーマとして掲げています。今回の取り組みは、これらを推進するものです。今後も、花王は、経営にESGの視点を導入することで、事業の拡大と、消費者や社会へのよりよい製品・サービスの提供をめざしていきます。そして、豊かな共生世界の実現に向けて取り組んでまいります。

<関連情報>

■「がんアライ部」について

<https://www.gan-ally-bu.com/>

■CancerXについて

<https://cancerx.jp/about>

■アグタスについて

<https://agutas.com/>

■花王のサステナビリティ

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/>